

審査基準表（案）
 （「地域密着型IT人材育成プログラム運営業務」業務委託）

審査項目	評価の観点	配点	
地域密着型IT人材育成プログラムの実施	共通事項	①ITスキル講座の実施、②県内企業への就職支援を並行して実施するプログラムとなっているか。	135
		プログラムはオンラインと対面を組み合わせで実施されているか。	
		講座の内容を録画しオンラインで配信するほか、受講者からの質問や相談に対応するための効果的なサポート体制となっているか。	
	①ITスキル講座	県内IT企業等が求めるITスキルを分析して、ITスキル講座のカリキュラムを構築した内容は適正か。カリキュラム構築後のアンケート方法等は適切か。	
		受講者のモチベーションを維持・向上させるための工夫は効果的か。	
		受講者同士で話し合いながら学び合うリアルタイムの機会は充実しているか。	
		講座の内容や目標、標準的な学習期間・時間数等の講座の情報を説明するオリエンテーションは効果的な内容か。	
		学習の進捗管理を可視化して行うほか、学習課題の設定やオンラインメンタリングを実施するなど学習の支援体制が充実しているか。	
	②県内企業への就職支援	コミュニケーションツールを積極的に活用し、進捗管理や習熟度の把握、質問、相談に対応できる体制は適正か。	
		受講者の就職先として想定しているターゲット企業の産業や職種、企業数等のほか企業名の例示の提案は適正か。また、このターゲット企業の協力を得た就職支援が実施されるか。	
県内IT企業等へのインターンシップや会社説明会、企業訪問、社員との意見交換会など受講者と県内IT企業等との接点が十分につくれるか。			
受講者の採用に前向きな県内IT企業等に関して事業目的を説明し、協力を依頼するとともに、インターンシップや企業訪問などのプログラムを作成し受入企業への十分な支援となっているか。			
独自提案	独自提案内容の付加的評価		
地域密着型IT人材育成プログラムの実施及び受講者の広報・周知	内容	ターゲットとする応募者の年齢やキャリア、応募者の目標人数等は適正か。	35
		HPやSNS、メディア等を活用し、ターゲット層をとらえた効果的な広報・周知の方法となっているか。	
	受講者の募集に際して、応募者が県内企業の求めるスキルや人材像をイメージできる情報をHP等で効果的に発信できるか。		
独自提案	独自提案内容の付加的評価		
運営	体制	業務実施体制は十分か。	20
		受講者の情報管理や学習・就活状況の把握をできる体制となっているか。	
	スケジュール	目的達成に向けた効果的・計画的なスケジュールとなっているか。	
経費積算	事業内容と積算のバランスは適正か。		
合計		190	

【審査方法】

- 委員は、各項目について審査を行い、採点する。
- 全ての委員の点数を集計する。
- 集計の結果、合計点数が最も高い参加者を委託業者として決定する。
 なお、点数が同点の場合は、以下の優先順位に従い決定する。
 - 最高点を付けた委員が多いもの。
 - 審査員による協議
- 委員の合計点数が最低基準点である570点（満点950点×6割）以上になった参加者がいなかったときは、受託候補者を決定しない。
- 参加者が1者だけの場合、委員の合計点数が最低基準点である570点（満点950点×6割）以上になったとき、その参加者を受託候補者として決定する。

【評価基準（5段階）】※下記を基準に係数を乗じた点数とする。

段階	5	4	3	2	1
評価	標準より非常に優れた提案	標準より優れた提案	標準的な提案	標準よりもやや劣る提案	標準より劣る提案